

# 生涯学習フェスティバルを終えて

## 「去年よりひろがった フェスティバル」

事業委員長 佐藤ひとみ

野幌公民館の一階をほぼ借り切る形で行ったフェスティバルは、昨年大きくスタイルを変え、二年目の開催となりました。会場もこれまで市民の方が大幅に増え、どの会場にも活気が感じられました。これは開催時期を昨年より二か月前め、温かい時期にしたことが大きな要因だと思えますが、参加団体の皆さんや事務局の教育委員会の皆さんの努力もあつての結果だと思えます。

多種多様な活動をしている団体がそれぞれの特色を出し合つて活動を公開し、また、それを同時に体験できる機会はそんなにも多くはないと思います。今回のキャッチフレーズを「やつてマナビ2017」に決めたのも「受け身ではなく自分から進んで未知のことをやってみる」として自分の好奇心を刺激して豊かな人生に繋げる機会にしてもらえたらとの思いからです。来年度以降もこのキャッチフレーズを続けて使っていけるように年度をつけました。

今回ステージ展示・体験の形で参加された団体の皆さんにとっては、新たな出会いがあったことと思います。また、フェスティバルに取り組む中で仲間との結束もあつたがもしれません。さらに、隣の気になる活動を体験し、新たな活動の場



を見つけた人がいたがもしも、自分のために始めたことがいつか人の為にもなり、しつては、社会に役立つ活動になつていく、その主役に誰かがなれる、そして、お互いの活動を認め合つて、時にはコラボレーションをしたり交流の輪が広がって江別のみんなが繋がる、そこに生きがいが生まれるのではないのでしょうか。

「25年間の支えに感謝！」  
江別まこととええ&北海道情報大学  
柏木 真紀子



生涯学習のイメージキャラクターであるみつばちの「マナビ」の様に、一つ一つの団体を飛び回り、たくさんのお集まりのフェスティバルがそんな場になれたらいいと思います。

9月3日(日) 生涯学習フェスティバルのオープニングで、2曲演奏させていただきました。手拍子や掛け声などで応援してください。方々の距離が近く、普段以上に応援が力になって、踊りながら自然と熱が上昇していくのが分

かりました。特に2曲目の「よっちよれ」という踊りでは、応援してくださった方々も踊りの輪に加わってください。会場全体がより一体感を増して盛り上がる事ができました。

今年にはチーム結成25周年の記念の年。9月の連休には茨城県神栖市の「かみす舞つちやげ祭り」に、10月の連休には三重県津市の「安濃津よさこい祭り」に参加し、「江別まこととええ」に繰り返し叫びながら、自称江別市PR隊の任務を果たして参りました。今年も、そしてこれからも、両手にちようらん、心にやる気をもって、全道全国海外へと飛び回り、踊りで元気と笑顔を届けたいです。江別市にYOSAKOIソーラン大賞をもってこれるその日まで、どうか永らくご支援をよろしくお願いいたします。



親子で楽しい時間を」  
江別子ども劇場 川守田 阿津子  
吉田 敦子

バルーンアートの体験コーナー。幼児から小学校高学年までのたくさんのお親子が参加してくれました。パネルには、子ども劇場の様々な活動を紹介します。その他、見本となる風船の犬、うさぎ、ねずみ、トノボ、はなリースなどを飾り、希望に沿って、細長い風船を膨らませるところから体験してもらいました。一番人気は6本使用リースで、色を選び、膨らませ、三つ編みをして、最後に6本の風船を一度に自分の手でひねって完成。ドキドキワクワクです。オリジナルのものも完成すると、どの親子も喜んで帰って帰ってました。お父さんが風船を膨らませたり、お母さんも自分の作品を作ったり、子供が初めて三つ編み挑戦したり、様々な親子とのふれあいがあり、笑顔がありました。

「ピザ作り体験を実施して」  
えべつ市民活動団体 江北まちづくり会  
工藤 英一

生涯学習フェスティバルにおける江別市食生活改善協議会とのピザ作り体験イベントに、江北まちづくり会では昨年に続き、レインフォレストのピザ焼きに協力しました。参加者の方々は、公民館内でピザ生地やトッピングを作ってから、外に設置したピザ窯でピザを焼く体験をしていただきました。私たち6名はピザ窯3台を運搬設置し、窯を加熱して、ピザを焼く準備をしました。

「ピザ作り体験を実施して」  
えべつ市民活動団体 江北まちづくり会  
工藤 英一



結果的にはとても良いピザが焼けて、皆様方に満足いただけただけではないかと思えます。電子レンジなどで簡単にピザが焼ける時代ですが、ピザ窯(江別のレンガを使って、ゆっくりと時間をかけて江別の食材(小麦、チーズなど)で出来たピザを食べることによって、江別の食文化を啓発していきたいと思えます。

「ピタミンCの実験に」  
江別消費者協会 和田 美和

昨年が続いて今年も実験を担当させて頂きました。今年には「ピタミンC」簡易定量実験です。簡単に言うとな試料の大根・人参・お茶・シユースなど、11種の食品中に、ピタミンCがどのくらい含まれているかを体験していただきました。試験管に試液(インドフェノール溶液)を入れ、試料の食品を何ml入れたら試液の濃い青色が反応して食品の色に戻るかを見て、換算表でピタミンCの量を算出してもらった実験です。



今回の生涯学習フェスティバルはオープニングのよさこい演奏・エンディングの金管アンサンブルの演奏が催しの始まりと終わりのけじめになってとても良かったと感じました。

## 体験フース

### 「3B体操の体験コーナーを実施して」

3B体操江別サークル

佐藤 ひとみ

今回は体験コーナーで参加しました。

隣り合ったフースの中で体験なので、音楽が迷惑にならない様に配慮しながら実施しました。昨年は、ステージで発表しているのと同時に体験してもらったので、音が重なり申し訳なかったのですが、今年は発表と体験の時間を分けたので、随分やりやすかったです。

体験者の人数も昨年に比べると格段に増え、20人くらいの方に体験してもらいました。

体験してもらった方からは、「二度体験してみたかったのよね」「体がすっきりした」などの感想が聞かれました。また、「3Bってどういう意味？」との質問もあり、3種類の用具Ball、Bell、Belterの頭文字をとって名付けられたことを説明させてもらいました。来年もまた参加させてもらいたいと思っています。



中で年配の方がコップのお花一輪を飾る体験をした事を語り、「これこそやっていってるんです」と話されました。

多くの親子連れの方が来られ、お花も花器も自分で好きな色を選べ楽しんでる様子がとても微笑ましく思いました。自分で活かしたお花を大事そうに持って帰られる方、その花器ほどの様に作られたのですかと聞かれる人もいました。あっという間にお花もなくなりました。

美しいお花に触れる事により心が癒され、気持ち明るくなりませす。この活動を通して多くの方に広がる事を願っています。

## 「生涯学習体験の場」

江別市家庭問題研究会

前川 裕子

今年の生涯学習フェスティバルで、当会は「えへ育カフエ」を開きました。初の取り組みであり、参加者がどのくらいいるのか不安でしたが、当日は天候にも恵まれ、三世代でカフエに顔をだしてくれた家族、親子連れやお孫さんと一緒に、たくさんの方とふれあう事ができました。

子育てに関する情報や絵本を手に取る人、カードゲームに興じる人、折り紙でコマや魚、変わり鶴を個性豊かに折り上げ、紙コップ



を使ったけん玉作りでは改造に挑戦する子もいて、和やかな雰囲気になりました。

参加者からこのような場の定期開催は？との質問も頂き、子育て中の人が気軽に話せる場作りの手応えを感じると同時に、皆さんに生涯学習の楽しさを体験して頂けたのではないかと思っています。

## 展示フース

### 「4年目の展示フース」

江別生涯学習インストラクターの会

田崎 彌生

今年も天候にも恵まれ、一日楽しくフェスティバルを体験させて頂き、ご準備、運営して頂いた推進協議会の方々、教育委員会担当の方々にお礼申し上げます。

当生涯学習インストラクターの会では例年のとおり、活動紹介、会員募集の会報展示など致しました。展示フースを担当して4年目となり何か声かけのきっかけ作りをしたく、担当している筆ペン教室の作品やテキストを見て頂き、実際に筆ペンを体験してもらえよう用意し実践してみました。同じ展示フース内の方々に体験して頂きました。

今年から「新米広報委員」として活動を始めました。協議会の情報発信も紙面だけでなく、映像や画像で分かりやすく伝えられたらと思います。そのためにも、積極的に関わってまいります。



ロビーは学生、親子連れ、熟年の先輩の方々が満席でしたので、一般の方々に向けて例えばパネル2枚くらいの巨大ポスターがあれば良いのかなと思いました。フェスティバルの内容は素晴らしいので、一階の見取図にステージ、体験、展示内容の掲示や、代金がお安いのも魅力的なので提供食品などの金額も大きめに表示して、もっと一般の方々にもおいで頂きたいと思いました。

## これからのイベント

### ◆江別短歌会

#### ○江別市民文化祭短歌大会

日時/2017年10月21日(土)

場所/野幌公民館

講演: 明石 雅子 氏(花林短歌会副代表・選者)

※受付は9時半から

### ◆江別演劇鑑賞会

#### ○江別演劇鑑賞会・創立30周年記念

東京芸術座「蟹工船」

日時/2017年10月21日(土)

場所/江別市民会館 大ホール

原作: 小林多喜二

脚色: 大垣肇

演出: 印南真人・川池丈司

出演: 谷信弘・山村勇人ほか

「昭和のはじめーカムサッカの怒涛の海で未来を切り拓く男たちの壮大なドラマ!」

◇一般 前売3,000円 当日3,500円

◇学生・高校生 前売1,500円 当日同じ

◇小・中学生 前売1,000円 当日同じ

※全席自由席

### ◆子ども文化ネットワーク・江別

#### ○こねっとおはなし会

日時/2017年10月21日(土)

場所/旧町村農場

おはなし会とオカリナコンサート

### ◆江別モラロジー事務所

#### ○ニューモラル講演会

日時/2017年11月9日(木)

場所/野幌公民館

心豊かな人生、楽しい家庭、住みよい社会をつくるための心づかいと行いのあり方を提唱する講演会

### ◆江別子ども劇場

#### ○子ども文化祭

日時/2017年11月12日(日)

場所/えぼあホール

子どもたちの演じる芝居、合唱、ダンス等

### ◆江北まちづくり会

#### ○第1回 かあちゃん市

日時/2017年11月25日(土)10:00~

場所/都市と農村の交流センター「えみくる」

管内の農家さんのかあちゃん達が、6次化を目指す各農産物を持ち寄り販売します。

### ◆江北まちづくり会

#### ○第1回ピザづくり国際コンテスト(予定)

日時/2017年11月25日(土)10:00~

場所/都市と農村の交流センター「えみくる」

各国の方が作るピザの味コンテスト

### ◆江別生涯学習インストラクターの会

#### ○今年も年賀状を筆ペンで!

日時/2017年11月25日(土) 10:00~

場所/野幌公民館

講師: 田崎 彌生 氏

参加料: 500円

定員: 20名

### ◆江別消費者協会

#### ○消費者のひろば

日時/2017年12月2日(土) 10:00~15:00

場所/江別市民会館 小ホール

おとなから子どもへ伝える〜あそぼう・体験しよう・学ぼう〜をテーマに、遊びながら楽しく学ぶイベントです。

## 今回の手話

### 「祭り」「祭典」「フェスティバル」「打つ(太鼓等)」

両手人差指の指先を前に向けて交互に上下する



## 《編集後記》

今年から「新米広報委員」として活動を始めました。

協議会の情報発信も紙面だけでなく、映像や画像で分かりやすく伝えられたらと思います。そのためにも、積極的に関わってまいります。

中村 康治